

会 議 録

会議名：2023年度 第1回介護医療連携推進会議	
場 所：高槻けやきの郷 第一会議室	
日 時：2023年9月6日 13:30~14:15	
出席者：冠・大塚地域包括支援センター H様、しあわせ訪問看護ステーション U様、 ご利用者(ご家族様) K様 (M様)、S様 (N様) 欠席者：竹の内地域住民代表 O様、訪問看護ステーションいこいの森 A様、 富田南・下田部地域包括支援センター K様	
記録者：寒川	司会者：寒川
I. 開会	
II. 議事	
① 2023年9月度 介護・医療連携推進会議 自己紹介 ② 利用状況の報告 ・実績報告書(別紙参照) ③ 今後の営業活動について 事業紹介の動画を作成し、訪問看護事業所及び居宅介護支援事業所へ 認知度を高めるために、QRコード付き(事業紹介動画閲覧用)チラシの配布(9 ~10月頃の予定)	
III. 事業紹介動画試写会	
スライドショーで4つの動画紹介 どのような内容の構成になっているか、断片的に観ていただく 1, サービス概要・イメージ図について 2, サービスの特徴・料金について 3, ご利用対象者・活用事例について 4, 訪問看護事業所へ向けて連携するメリットについて	
IV. 質疑応答	
Q: サービス提供エリアがありますか。 A: 高槻市全域を範囲としていますが、 <u>迅速に当事業所から随時対応ができること</u> を考慮した範囲でのご提供となります。	
Q: 随時対応の提供の在り方とはなんですか。 A: サービス提供時のご利用者の状態や通報内容に応じて、訪問員やオペレーター (有資格者)により、 <u>緊急性などを判断して、随時サービスをご提供</u> しています。	

Q:現状の余力(ご利用者の受け入れ)はありますか。

A:ご利用者に対する(現時点の)サービスを考慮した上でのサービス提供となりますが、ご相談の上、ご支援させていただきます。

Q:ケアマネジャーと当事業所とは同一組織なのか。

A:質問者の担当ケアマネジャーは、高槻けやきの郷居宅介護支援事業所のケアマネジャーですが、当事業所をご利用になられている方の中には、他の居宅介護支援事業所のケアマネジャーが担当されている方もおられます。

Q:ご利用者(ご家族)からサービスの変更があれば、どのように連絡すればよいか。

A:担当のケアマネジャーがサービスの日程調整などは行います。しかし、各事業所で提供するサービスの変更内容によっては、直接、ご利用者(ご家族)から各事業所とのやり取りも可能ですが、連絡の行き違いがないように予め、連絡方法を決めておくのもよいでしょう。(担当ケアマネジャーがサービス提供者である施設や事業所と密に連絡を取り、ケアプランに記載した目標が達成できるよう調整します。前述した課題の解決や迅速な対応につなげるため、日頃からサービス提供者との連絡を積極的にとり、ご利用者やご家族の相談内容を共有しておくことが大切です。)

Q:状態に不安があるので、訪問看護はどのようにして利用することになるのか。

A:訪問看護サービスについては、主治医又は、担当ケアマネジャーへ先ずはご相談ください。(訪問看護を利用するには主治医が出す「訪問看護指示書」が必要になります。)

V. 欠席者からのご意見

照会(依頼)内容から抜粋

●訪問看護ステーションいこいの森 A様

何かあったらすぐに TEL いただいているので、大変ありがたく思っております。

A:ご意見ありがとうございます。

ご利用者の在宅生活を支える為には、情報共有がとても大切になります。

すぐにご連絡をするように心がけております。これからもよろしく願い致します。

●竹の内地区代表者 O様

「随時訪問」「夜間訪問」に取り組んで、5人の利用者が居られることにびっくりさせられています。・随時となると、訪問される担当の方も大変と思います。・職場環境も大事にしないと継続が厳しいかと思えます。

A:ご意見ありがとうございます。

現状のスタッフ体制で、できる範囲でのサービスをさせていただいております。ですが、実績報告書にもありますように、より多くの人、求めるニーズにお応えできるよう、人材確保に努めてまいります。

●富田南・下田部地域包括支援センター K様

報告書を読ませていただき、活動の内容は了解致しました。

A:ご意見ありがとうございます。

この会議は、提供しているサービス内容等を明らかにする他、地域における介護及び医療に関する議題について関係各所が情報共有を行い、介護と医療の連携を図ることも目的としています。ですので、地域のお声を聞かせていただきたく、今後とも会議へのご参加をよろしくお願い致します。

VI. その他

●次回の開催予定について

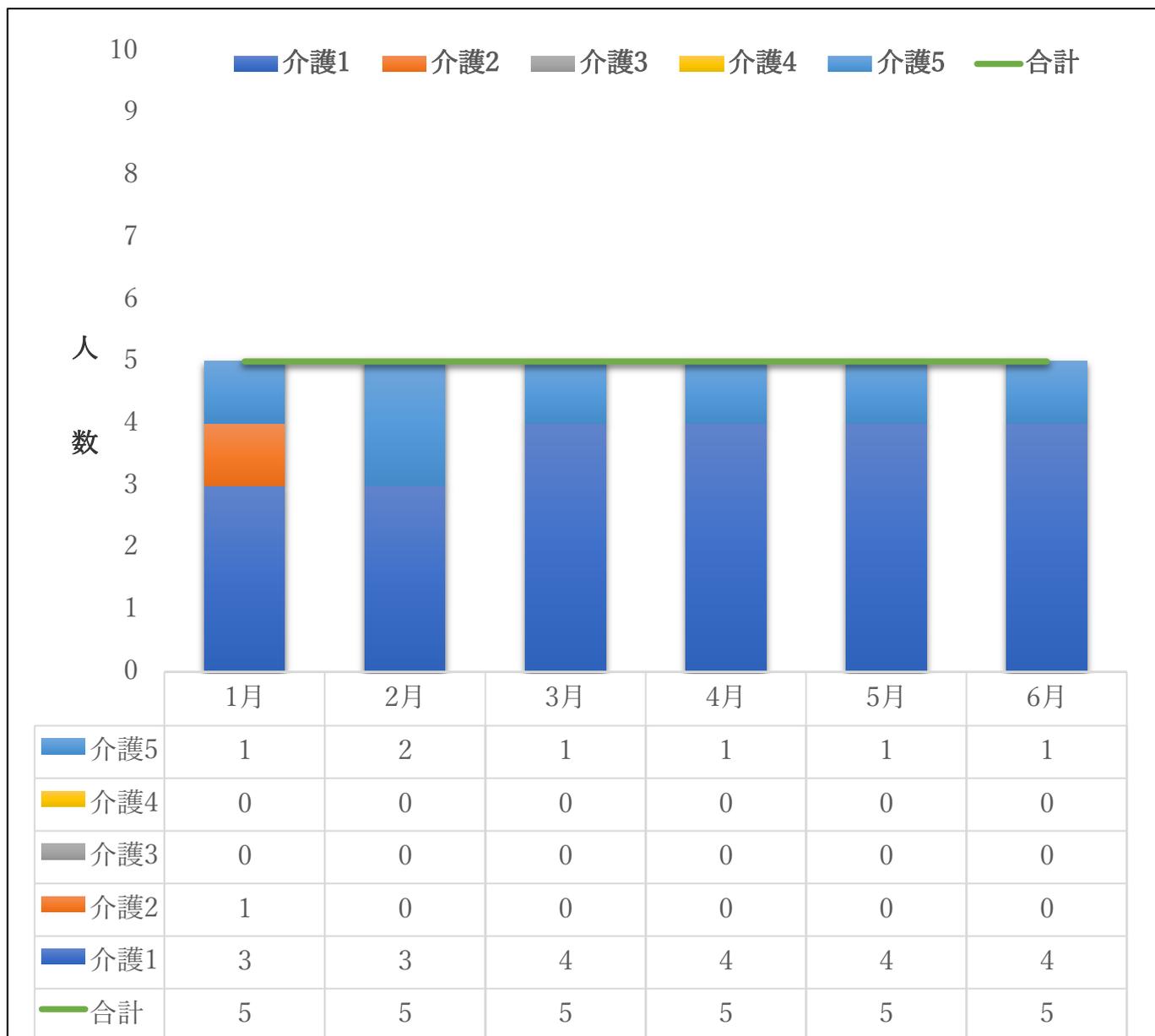
2024年2～3月開催予定での周知

VII. 閉会

※別紙資料(実績報告書)添付

I. 実績報告

2023年1月～6月 ご利用者・月別・介護度別推移表



2023年1月～6月 ご利用者数内訳

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
敷地外ご利用者	2	1	2	2	2	2
敷地内ご利用者	3	4	3	3	3	3
合計	5	5	5	5	5	5

サービスの提供状況 2023.1～2023.6 まで

- 敷地外ご利用者 2名
- 敷地外ご利用者 随時対応・訪問回数、内容について

1月	2月	3月	4月	5月	6月
<ul style="list-style-type: none"> • 排泄介助 2回 • 臥床介助 1回 	<ul style="list-style-type: none"> • 起床介助 1回 • 体調不良 1回 	<ul style="list-style-type: none"> • 排泄介助 2回 • 更衣介助 1回 	<ul style="list-style-type: none"> • 排泄介助 2回 • 更衣介助 1回 	<ul style="list-style-type: none"> • 排泄介助 • 体調不良 13回 (※ 9回) 	<ul style="list-style-type: none"> • 排泄介助 5回 (※ 2回)

※(内夜間・早朝の回数)

○排泄介助の訪問について

排便のコントロールが上手くいかず、通報での随時訪問が増えている状況です。
ご本人の体調など考慮して、定期訪問時間を検討中です。

- 敷地内ご利用者について（サービス付き高齢者向け住宅ご入居者）

- ご利用者 : すべて要介護度は1で、女性となっています
- サービス : 主に服薬支援や食堂への誘導などがメインとなっています。
- その他 : 定期的な掃除洗濯などの生活支援やイベントへの誘導
(施設開催イベント・ワクチン接種・体操等)

II. 問い合わせ報告

2023年1月～6月までの内訳

問い合わせ内容	
安否確認について(認知症の方)	1
不安解消・排泄の声掛け	1
	2

●軽度認知症の方の安否確認

高齢のご夫婦でお住いの方でお父様の入院が長引き、一時的に認知症のお母様とご家族との同居を行っていた。しかし、ご家族の介護負担がある為、ショートステイを試みるもお母様の拒否が強く、ご自宅で生活にこだわりがあるが心配なので定期的な訪問で安否確認と何かあった際の所在確認の対応ができないか。

→現状のスタッフ体制とご利用者からの移動時間などを考慮し、随時対応でご希望の対応を迅速に行う事が困難であると判断し、再度、他サービスでの検討をいただく。

●軽度認知症の方の不安解消

デイサービスを平日毎日と訪問看護をご利用になられておられるが、日曜日に娘様がお仕事に行かれている間に気になる事があると、何度もお電話をされることに負担を感じている。その為、ヘルパーでお声掛けをすることで不安解消につながるのではないかと、ヘルパーの訪問を希望される。

→保険外サービスでのご利用を希望され、利用開始となる。

Ⅲ. 前回課題への取り組みのご報告

• サービスに関するお問い合わせについて

ホームページをご覧になったというお問い合わせも増えつつある中、個々のご要望の全てにお応えすることが難しい場合も多く、結果契約に繋がらなかったという現状です。ご要望にお応えできるよう、現在も問題点を改善すべく、発信していけるよう努めて参ります。地域のふれあい喫茶を訪問した際、参加された皆様のご意見では、ホームページやブログの配信ではなかなか閲覧していただけない方もいらっしゃるようなので、地域の方へは交流会やイベント等でも、当事業所のサービスを知っていただけるような機会を作りたいと考えています。

• 求められる随時訪問、夜間訪問について

随時訪問は当然のことながら、ご家族の介護負担軽減を考慮すると、特に夜間訪問に関しては今後も需要が増加すると考えております。昨今の人材確保難もありますので、ブログ配信等も活用し、介護に関心を持っていただけるような人材確保に努め、様々なニーズに対応できるような体制作りの構築をして参ります。

• 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを勧めるご利用者について

このサービスは、要介護度の高いご利用者が、住み慣れたご自宅で24時間の介護・医療のサポートを受けながら、安心して在宅生活を送れるよう特にお勧めしたいサービスとなっております。今後も、病院関係のケアプランセンターや訪問看護事業所への営業活動をメインに、皆様にわかりやすく解説した動画なども活用し、積極的にアピールしていきたいと考えております。